

## 2年普通科総合的な探究の時間

## 6月12日 テーマ発表会

6月12日(水)5, 6限目、2学年普通科「総合的な探究の時間」のテーマ発表会が行われました。この授業では一年間を通して、班ごとに自分たちで設定したテーマについて探究活動を進めています。今回の発表会では4つの分野別分科会に分かれ、日頃活動している班を離れて、様々な班からのメンバーで構成されたグループの中で、各班の取り組みや今後の展望を発表し合いました。それぞれの分科会で、今後調査を進めていく上で重要となる新たな視点が得られたようです。



## 地域と文化

「地域と文化」では、地域の祭りや世界遺産である熊野古道、シビエや醤油等の食文化、捕鯨文化、また、和歌山県のジェンダー問題など、個性豊かなテーマについての発表・意見交換を行いました。SDGsと関連付けた現代社会の諸問題に目を向けた研究の方向性が語られるとともに、質疑応答では自分たちが未調査の内容についての質問もありました。同じ「文化」というキーワードであっても、グループによって取り上げる題材は様々であり、改めて「文化」の幅広さ、多彩さ、奥深さを感じることができたようです。



## 【テーマ発表会を通して学んだこと：地域と文化編 ～振り返りシートより～】

・自分たちの班では完璧だと思っていたけど、他の人から聞くと、内容の足りていない部分がけっこうあった。発表する時にもっとアイコンタクトをしたら良かったなと思った。

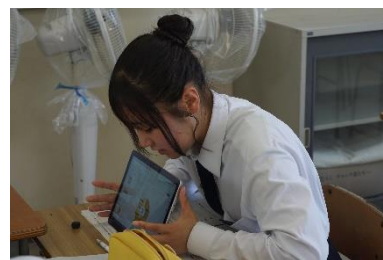
・表現が少し抽象的すぎたところがあった。目標もあいまいになってしまって、何をしたいのかわからなくなってしまう可能性があるので改善したい。

・時間が少し余ったけれど、事前に醤油の小ネタや豆知識を準備していたおかげで、なんとか場をつなげた。話し方やジェスチャーも大事だけど、一番はどれだけ準備できているかだと感じた。

・データを使った説明で信ぴょう性を出したのは効果的だったと思った。他の班はしたいことが具体的に決まっていたので、自分たちも詳しく決定していかないといけないと思った。

## 地域と産業

「地域と産業」では、特産物の販売促進や魚の捨てられる部分の活用、食品ロス、観光スポットの発展、和歌山でのフードデリバリーの普及など、幅広いテーマについての発表・意見交換を行いました。タブレット PC を活用し、グラフで具体的な数値を示すなど、わかりやすく伝える工夫がありました。また、他の班の発表を聞き、今後の展望が似ていることに気づき、より独自性のある探究を目指して、計画の軌道修正を考える班も見られました。



### 【テーマ発表会を通して学んだこと：地域と産業編 ～振り返りシートより～】

・分科会グループのみんなに教えてもらったことを実現させていこうと思った。一番伝えたいことを決めて、深く調べていく必要があると思う。グラフなども自分たちで作っていこうと思う。

・今後の展望が他の班と同じだったので、他のアイデアも考えたい。オリジナル性を重視して、もう少し新しいことを考えられるとよいと思った。

・みかんを腐らせない方法などの例をいくつか挙げたらよかった。みかんを使った掃除方法の具体的な使用場所・効果、青みかんを使ったシャンプーなどについても、もっと詳しく調べた方がより内容を深められると思った。また、他の活用法を見つけることも必要だと思った。農家さんにつながってレシピを共有することも方法の1つとしてしっかり考える。



## 地域と防災



「地域と防災」では、新しい防災グッズ開発や非常食とストレス緩和、食料調達方法とハザードマップ、防災知識の普及、津波とライフジャケット、学校で被災した時の対策など、さまざまな角度から防災を見つめた、多岐にわたるテーマの発表が繰り広げられました。あるグループは、災害に備えて様々な食材を適切に調理することをテーマに挙げていて、周囲から多くの関心や質問を集めていました。多様な発想が飛び交う、とても有意義な発表会になりました。



## 【テーマ発表会を通して学んだこと：地域と防災編 ～振り返りシートより～】

・自分たちは地震発生後の対策に焦点を当てていたが、他の班の発表を聞いてみると、地震が発生する前にできることを考えている班もあることがわかり、防災といってもいろいろな観点があることがわかった。また、テーマが違って他の班のアイデアを取り入れることはできると思った。

・発表の中には興味を引くようなテーマなのに計画性があまりなかったり、内容が薄かったりするものもあった。自分たちの活動内容をしっかりと練って計画を立て、発表を聞いた人の反応が良くなるような探究にしていきたい。

## 国際社会と地域

「国際社会と地域」では、トランスジェンダーや制服とジェンダー問題、ヴィーガンなどマイノリティーに関わる諸問題や、フェアトレードや貧困問題、食品ロスやゴミ削減、災害時のプライバシーにスポーツトレーナーの普及など、幅広いテーマを国際的な視点で探究しています。質疑応答の内容が具体的で自身の考えやアイデアを発展させるきっかけを得るものである場合と、質問者の意図を把握できていない場合があり、「質問をされたときの対応」に課題が残りました。しかし、全員が前向きに「次」のことを考えており、一度自分たちが考えていることを発表し、客観的な意見を取り入れる機会が得られたことは、これからの研究の質を上げることにつながります。



## 【テーマ発表会を通して学んだこと：国際社会と地域編 ～振り返りシートより～】

・質問をしたことによって、ヴィーガンとベジタリアンの違いがわかった。これは質問しなかったら、わからないままだった。逆に、自分が質問されて答えられなかった質問は、もっと調べるきっかけになって良かった。自分が質問するとき、もう少し本質を突くような質問がしたかったのでできなかったのが悔しかった。発表を聞いて、世の中にはいろいろな問題があり、それを解決する方法を考えている人がたくさんいることを知った。自分たちも社会の役に立てるように、これからの総探の活動を頑張っていこうと思った。

・他の発表者のワークシートの内容がぎっしりと詰まっていた、自分ももっと調べる必要があると感じた。コメントシートに良かった点や悪かった点を書いてくれることで、気づかなかったことがたくさんわかって、改善しやすくなった。

・他の班の発表者と自分とで考え方が違った。また、他の発表者はアイコンタクトをとったり、大きな声ではきはきと話したりしていたので、私も見習って良いところを真似しようと思った。グループの1人ひとりの研究テーマが違ったのでく

